

賢いパソコンに育てよう!

日本語の変換に不満はないですか？

普段、何気なくキーボードを打ち、日本語に変換していますが、時々おかしな漢字に変換したり、自分の思う文字に変換されなかったりしてイライラした事はないですか。そんな時はIMEの辞書に言葉を登録しましょう。一度登録すれば、次回からは確実に変換候補に表示されます。登録は想像よりとっても簡単です。あなたのパソコンを「賢く」してあげませんか。

「IME」ってなに？

IMEは、パソコンに入力した文字を日本語に変換するソフトのことです。日本語変換ソフトで変換された語句を使い、体裁を整えて文書を作成するのが「ワード」や「一太郎」などのワープロソフトです。日本語変換ソフトの代表としては、MS-IME(マイクロソフト)、ATOK(ジャストシステム)などが有名です。これらは、最適な変換を行うように、いろいろな工夫がされています。MS-IMEはWindowsに標準装備されています。下の「言語バー」はご存知ですかね。

日本語変換ソフトでは**学習機能**は当たり前。一度変換した語句は変換候補の順序を上げたりします。このほか、大切な機能に「辞書登録」があります。変換候補に出てこない特殊な語句を「辞書」に登録することで、変換効率を上げます。

覚えてください！「Ctrl」+「F10」

MS-IMEには「システム辞書」と「ユーザー辞書」の2種類の辞書があります。システム辞書にない語句をユーザー辞書に登録することにより日本語変換の効率をアップできます。辞書への登録はとっても簡単！登録したい単語を選択状態にします。「Ctrl」+「F10」を押し、表示されたショートカットメニューから「単語/用例登録」をクリックします。右のウィンドウが開きますので「読み」を入力、「品詞」欄を選択して「登録」ボタンをクリック。変換に手間取った単語はユーザー辞書に登録しておきましょう。※登録は日本語入力モードがONの時にできます。



単語登録は「読み」の入力がカギ！

登録時に「読み」の入力をひと工夫すると、さらに入力の効率がアップします。長い語句を、短い「読み」で登録します。「北陸大同産業株式会社」は「読み」を「だいでう」と登録します。よく使う英単語を簡単な日本語の「読み」で登録しておくのも便利です。よく使う業界用語や略語の登録も効果的です。自分だけのユーザー辞書で入力効率をアップしてください。

■登録しておけばとっても便利です。

名前 住所 会社名 アドレス 電話番号 商品名 得意先正式名・・・商品名の一部を入力するだけで長い商品名に変換できれば伝票入力もラクになりますね。得意先名は間違えたら大変です。正式名を登録しておきましょう。**タイプライター防止**にもなります。ホームページを作成する人なら「かいてよう」→「BR」もありですね。「うい」→WindowsXPというの也不错ですね。**入力モードを気にせず**入力できます。**備忘録**としてパスワードや口座番号を登録しておけば、すぐに確認できます。

辞書への一括登録は、パソコンにおまかせ！

ユーザー辞書への単語登録は、まとめて一括登録もできます。まずは登録したい単語が記述されているファイルを用意します。すでに作成済みのワードファイルでも、登録したい単語ばかりを集めたテキストファイルでも構いません。次に「言語バー」の「ツール」をクリック。「変換トレーニングウィザード」を開きます。「参照」で、用意しておいたファイルを指定して「次へ」をクリックすると未登録単語の抽出が始まります。抽出が完了すると右の画面に変わり、辞書に単語が登録されます。「辞書ツール」のボタンを押して、登録された単語を確認しておきましょう。↓辞書ツール画面



辞書ツールの画面では、登録された単語の「読み」に間違いがないか確認しましょう。「読み」が間違っていると、せっかく登録した単語が、思うように変換候補になりません。辞書ツールでは、登録、削除、変更ができますので、自分にあった辞書を作成してください。



辞書ツールは「言語バー」の「ツール」からいつでも呼び出せます。

読めない漢字を簡単入力！

読み方の分からない漢字の入力って困りますよね。「菠薐草」「酸漿」「玉蜀黍」って読めますか？これらを入力する時に役立つのが「IMEパッド」です。「言語バー」の「IMEパッド」をクリックします。「手書き」「文字一覧」「総画数」「部首」などで漢字を検索・入力できます。「手書き」の場合は、1画書くたびに候補が絞られていきます。マウスでの「手書き」が苦手な人は「総画数」や「部首」で探してみましょう。



菠薐草(ホウレンソウ) 酸漿(ホオズキ) 玉蜀黍(トウモロコシ)

ユーザー辞書とシステム辞書

MS-IMEには、ユーザー辞書とシステム辞書があります。この2つの違いは、システム辞書はユーザーが編集できない辞書で複数あり、ユーザー辞書はユーザーが編集できる辞書で、1人のユーザーに1つだけ作成できます。システム辞書にない単語や単語の組み合わせ、用例などを補助します。システム辞書には郵便番号辞書や人名地名辞書などがあり「100-0001」と入力して変換すると「東京都千代田区千代田」と変換されるのは「郵便番号辞書」のおかげです。もし変換されない場合は、IMEのプロパティ画面で「郵便番号辞書」にチェックを付けてください。濃いチェックと薄いチェックの違いはその辞書を使う変換モードの違いです。郵便番号辞書はマイクロソフトのサイトから最新版のダウンロードも可能です。



ユーザー辞書からシステム辞書を作成

専門用語などを登録したユーザー辞書からシステム辞書を作成することもできます。「辞書ツール」画面の「ツール」→「システム辞書の作成」をクリックします。開いた画面で辞書の保存先を指定します。私のパソコンの場合はC:\WINDOWS\IME\IMJP8.1\DICTIONARY。適当なファイル名を入力して「開く」をクリックします。辞書に名前を付けて「OK」をクリックすればユーザー辞書がシステム辞書になります。次にIMEのプロパティ画面を出し、システム辞書の「追加」をクリックします。「システム辞書の追加」画面で作成した辞書ファイルを選択します。「開く」をクリックしてセキュリティ警告が出たら「実行する」を選択すれば完了です。

いらなくなった変換候補がいつまでも表示されるのは、とても煩わしいですね。そんなときは「Ctrl」+「Delete」で変換候補から削除しましょう。削除した変換候補は品詞が「抑制単語」に変わります。変換候補に復活させるには「辞書ツール」で品詞の欄を変更してください。

今号の検証は「Microsoft IMEスタンダード2002」で行っています。IMEのバージョンによっては画面、操作方法が違う場合があります。IME2003では、「最新語辞書」があり、3ヶ月に1度アップデートされています。MS-IMEのサイトで確認してください。

開発室から

いろいろなCDから曲を選んで、オリジナルCDを作成しました。クルマの中で聞いていると曲によって音量がバラバラでちょっと不満です。小さな音の曲の次に大きな音の曲があるときなんかは、慌ててボリュームを絞ります。そこで「音量 揃える」でネット検索してみると・・・あるんですね！便利なソフトが！早速使ってみます。